(**/**\5|| **B**| **E**| **-**建築(新築) ■評価結果 ■

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 (仮称)KONOIKEテクノセンター新築工事

■使用評価マニュア CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応ル ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

	アシー		<u> </u>				_	_	7GS(V1.1)
^ -		I.	次二 权阳						
配慮	項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q	建築物	勿の環	境品質			不 奴		示 奴	3.0
	室内					0.40		-	2.7
1	音環均				2.3	0.15	-	-	2.3
			蚤音レベル	 -	1.0 3.4	0.40 0.40	-	-	
	1.2	<u>遮音</u>	開口部遮音性能	開口部遮音性能: T−2以上	5.0	0.40	-	-	
		2	界壁遮音性能	_	1.0	0.40		-	
		3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	1-		-		-	
		4	界床遮音性能(重量衝擊源)]-		-	-	-	
		吸音		-	2.9	0.20		-	0.4
2	温熱理	冥現 室温制	ll 华n		2.1 3.2	0.35 0.50	•	-	2.1
	2.1	<u> </u>	室温	_	3.0	0.38	-	-	
		2	外皮性能	窓システムSC:0.5、U=1.3(W/m2K)、外壁その他:U=0.7(W/m2K)	4.0	0.25		-	
		3	ゾーン別制御性	-	3.0	0.38		-	
	2.2	湿度制	川御	_	1.0	0.20	-	_	
				4_	4.0				
3	<u> 2.3</u> 光•視	<u>空調力</u> 環境	工		1.0 2.4	0.30 0.25		-	2.4
		昼光和	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		2.7	0.30	-	-	
		1	昼光率]-	1.9	0.60		-	
		2	方位別開口	—		-		-	
			屋光利用設備	共用部に面して吹抜けを計画し、上部にトップライトを設置	4.0	0.40		-	
	3.2	グレア	対束 昼光制御	<u>_</u>	3.0 3.0	0.30 1.00	-	-	
	3.3	<u> '</u> 照度	生儿 啊 哗	300lx≦[照度] <500lx	3.0 3.2	0.15		-	
		照明制	御	-	1.0	0.25	-	-	
4		質環境			4.1	0.25	-	-	4.1
	4.1	発生源			4.0	0.50	-	-	
	4.0	1	化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00		-	
	4.2	<u>換気</u>		_	3.8 3.0	0.30 0.33	-	-	
		2	自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/50以上。	3.6	0.33		_	
		3	取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口は各種排気口と異なる方位で、かつ6m以上離れ	5.0	0.33			
				て設置されている。				-	
	4.3	運用管		00000-11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	5.0	0.20	-	-	
			CO ₂ の監視 喫煙の制御	CO2監視が中央で常時行えるシステムとなっている。 ビル全体の禁煙が確認されている。	5.0 5.0	0.50 0.50		-	
Q2	サート	ビス性		こが上げるのが、注が、特性的に行っても、から	J.0 —	0.30		-	3.5
	機能性				3.4	0.40	•	-	3.4
	1.1	機能性	・使いやすさ		2.0	0.40	-	-	
		1	広さ・収納性	 -	1.0	0.33		-	
			高度情報通信設備対応 バリアフリー計画		2.0 3.0	0.33 0.33		-	
	1.2	_	けんりょう 日画	1	4.6	0.30	-	-	
		1	広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上。	4.0	0.33		-	
			リフレッシュスペース	リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。	5.0	0.33		-	
	1.0		<u> 内装計画</u>	照明計画と内装計画を一体として計画	5.0	0.33	1.0	-	
	1.3	維持管		外部に露出する金属部材にメッキ処理等の特別な防錆対策が取ら	4.0	0.30	•	-	
		1	維持管理に配慮した設計	れている。	4.0	0.50		-	
			維持管理用機能の確保	専用の清掃用流しや水道を設置している。	4.0	0.50		-	
2		生・信頼			3.5	0.30	-	-	3.5
	2.1	耐震:	免震・制震・制振	-	3.4	0.50	•	-	
			耐震性(建物のこわれにくさ)	ー 免制震デバイス(球面すべり支承)を使用している。	3.0	0.80		-	
		2	免震·制震·制振性能	77.17.6 17.110	5.0	0.20		-	
	2.2	部品・	ェーー 部材の耐用年数		4.0	0.30	-	-	
			躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
			外壁仕上げ材の補修必要間隔	耐用年数:30年以上 耐用年数:20年以上	5.0	0.20		-	
		3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔 空調換気ダクトの更新必要間隔		5.0 3.0	0.10 0.10	÷	-	
		5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水 PEP(B)、排水 VP(B)、空調 SUS(C)、Eは不使用。	5.0	0.10		_	
			主要設備機器の更新必要間隔	_	3.0	0.20		-	
	2.4	信頼性			3.2	0.20	-	-	
		1	空調・換気設備	<u>-</u>	3.0	0.20		-	
		2	給排水·衛生設備 	[_	3.0	0.20		-	
		3	電気設備		3.0	0.20		-	
			機械・配管支持方法	設計用水平震度KHを1.5以上としている。	4.0	0.20		-	
		5	通信•情報設備	_	3.0	0.20	-	-	

3 対応に乗ぎ組								
日本でのたり おび、19m以上 1.50 0.00 0.00 1.50 0.00 1.50 0.00 1.50 0.00 1.50 0.00 1.50 0.00 1.50 0.00 1.50 0.00 1.50 0.00 1.50 0.00	3	対応性・更新性		3.6	0.30	-	-	3.6
2 国際の時代:自由社 012 [建東が終] < 0.0 0.0				4.6	0.30	-	-	
3.2 信息のかとり		1 階高のゆとり		5.0	0.60	-	-	
33 受命の息性性		2 空間の形状・自由さ	0.1≦ [壁長さ比率] <0.3。	4.0	0.40	-	-	
33 受命の息性性		3.2 荷重のゆとり	_	3.0	0.30		-	
1 空間を他の良新性				3.4	0.40	-	-	
2 年前大学の支軽性			<mark>- </mark> _				_	
1			- _					
4 語な財産の受験性							_	
1							-	
1						-	-	
2				3.0	0.20	-	-	
生物性のの配性			_	3.0	0.20	-	-	
2 本もなか・長根への配産 過数化・アナーへの配産 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 3.0 0.50 4.3 2.0 4.0 0.0 4.3 2.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 5.0 0.0 0.0 5.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 <td>Q3</td> <td>室外環境(敷地内)</td> <td></td> <td>_</td> <td>0.30</td> <td></td> <td>-</td> <td>3.1</td>	Q3	室外環境(敷地内)		_	0.30		-	3.1
本地域でアメニティーの配慮	1	生物環境の保全と創出	_	2.0	0.30	-	-	2.0
本地性・アメニティーの配達			植栽により良好な景観を形成。	4.0	0.40	-	-	4.0
3.1 地域性への配点、技術性の向上				3.0	0.30	-	-	3.0
3.2 登地内語教理教の向上	ľ		_				_	0.0
日本			_					
1				3.0	0.50			4.0
建物大変の熱色食物制					-		-	
2 音数 本外の	LR1	エネルギー			0.40	-	-	4.9
2 自然エキルギー利用 トンプライを使用している。 4.0 0.10 .5 - 4.0 4 加速的調用 5.0 0.50 .5 5.0 4 加速的調用 5.0 0.00 .5 5.0 4.1 モニタリング .6 0.50 .5 .5 4.1 モニタリング .6 .5 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3 .3	1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI = 0.65, 事務室にLow-Eガラスを採用	5.0	0.20		-	5.0
1			トップライトを使用している。	4.0		-	-	4.0
							-	
集合性を見けの評価							_	
41 モニタリング 日本の日本	,					_		3.0
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			DEMC拉田				-	
集会性率の影響							-	
4.1 モニタリング			BEMSICよる正期的な設備性能検証を行う。	5.0	0.50	-	-	
12 選出		_集合住宅の評価		-	-	-	-	
LR2 音源・マデリアル		4.1 モニタリング	_		-	-	-	
水養療保護		4.2 運用管理体制	_ _		-	-	-	
水養療保護	LR2	<u> </u>		_	0.30		-	3.9
1.1 節水				3.4	0.20		_	
1.2	l' i		節水コマなどに加えて、節水型便器を用いている。					0
1 雨水料用システム導入の有無			加水 へんちこ に加水 主 民間 と 川 く く り。					
2 推邦生性資源の使用量削減 4.4 0.60 - 4.4 2.1 材料使用量の削減 - 3.0 0.00 - 4.4 2.2 既存建築銀体等の総統使用 - 3.0 0.20 - 4.4 2.2 既存建築銀体等の総統使用 5.0 0.20 - 4.4 2.4 躯体材料とは75リサイクル材の使用 ボード・ビールは4・原熱材 5.0 0.20 - 4.4 2.5 持続可能な森林から産出された木材 6.0 0.10 - 5.0 0.20 - 4.4 2.6 部材の毎月間の配間に向上への取組み 1.33 0.20 - 3.3 0.20 - 3.3 3.2 フロン・ハロンの回避 - 3.5 0.70 - 7.0			_				-	
2 非実性的認の使用量削減 4.4 0.60 - 4.4 2.1 材料使用室の削減 - 3.0 0.10 - 3.0 2.2 既存建築躯体等の離積使用 3.0 0.20 - 3.0 2.4 躯体材料以下はおけるリサイクル材の使用 ボード・ビニル炭材・断熱材 5.0 0.20 - 3.0 2.5 特統可能な森林から座はされた木材 持続可能な森林から産出された木材 5.0 0.20 - 5.0 0.20 - 3.0 3							-	
2.1 材料使用型の削減			_	_		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	2 .			4.4	0.60	-	-	4.4
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 特続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 3.7 汚染物質含青ない材料の使用 ***・ド・ビール承状・断熱材 **・ド・ビール承状・断熱材 **・ 「			_	3.0	0.10	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		2.2 既存建築躯体等の継続使用	_	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ボード、ビール体制・動熱材 5.0 0.20 - 2.5 許林可能な森林から産出された木材 (.65と0Aフロアを使用している。 3.0 0.20 - 3.3 3.2 フロン・ハンの回避 - 3.0 0.30 - - - 1 消火剤 -		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	杭に高炉セメントを利用	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材 持続可能な森林から産出された木材の使用比率が50%以上。 5.0 0.10 0.20			 ボード, ビニル床材, 断熱材	5.0	0.20		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					0.10		_	
3.3 万泉物質含有材料の使用回避 3.3 0.20 - 3.3 3.3 0.20 - 3.3 3.3 0.20 - 3.3 3.3 3.3 0.20 - 3.3 3.3 3.3 0.20 - 3.3 3.3 3.3 3.3 0.20 - 3.3 3.3								
3.1 有害物質を含まない材料の使用			EdoCons = y Elexand Const.					2.2
3.2 フロン・ハロンの回避	l ^o i	万条物具3有材料の使用凹壁		3.3	0.20		-	3.3
3.2 フロン・ハロンの回避		3.1 有害物質を含まない材料の使用	_	3.0	0.30	-	-	
1 消火剤 - 0DP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。 4.0 0.50 3 0.50 - 3.0 0.50 3.9 3.0 0.50 3.9 3.0 0.50 3.9 3.0 0.50 3.9 3.0 0.50 3.9 3.0 0.50 3.9 3.0 0.50 3.9 3.0 0.50 3.9 3.0 0.50 3.6 2 地域環境への配慮								
2 発泡剤(断熱材等) ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。 4.0 0.50 0.50				3.5	0.70	-	-	
Ray		1 消火剤	_	-	-	-	-	
Ray		2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	3.0	0.50		-	
1 地球温暖化への配慮 LCCO2排出率31% 5.0 0.33 - 5.0 2 地域環境への配慮 3.6 0.33 - 3.6 2.1 大気汚染防止 燃焼機器を使用していない。 5.0 0.25 - 3.6 2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - 3.5 0.25 3.0 1 雨水排水負荷低減 - 3.0 0.25 3.0 0.25 3.0 2 汚水処理負荷抑制 適切な駐車スペースの確保 4.0 0.25 3.2 3 原産物処理負荷抑制 減量化対策を計画している 3.2 0.33 3.2 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 3.2 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 - 3.0 0.40	LR3					-	-	3.9
2 地域環境への配慮 3.6 0.33 - 3.6 2.1 大気汚染防止 燃焼機器を使用していない。 5.0 0.25			LCCO2排出率31%				_	
2.1 大気汚染防止 燃焼機器を使用していない。 5.0 0.25 - - 2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.5 0.25 - - 1 雨水排水負荷低減 - 3.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 歯切な駐車スペースの確保 4.0 0.25 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 減量化対策を計画している 3.2 0.33 - - 3.2 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 - 3.0 0.40 -								
2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50	۱ ۱							3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.5 0.25 - - 1 雨水排水負荷低減 - - - - - 2 汚水処理負荷抑制 適切な駐車スペースの確保 4.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 減量化対策を計画している 4.0 0.25 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 - - - - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 3.2 風書、砂塵、日照阻害の抑制 - - - - 2 砂塵の抑制 - - - - 3 日照阻害の抑制 - - - - 3.3 光害の抑制 - - - - 4.4 0.20 - - 3.3 光害の抑制 - - - - 4.4 0.20 - - - - - - - 1 風害の抑制 - - - - 3 日照阻害の抑制 - - - - <td< td=""><td></td><td></td><td>※※※グで1及金でに大力しているが、。</td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td></td></td<>			※※※グで1及金でに大力しているが、。				-	
1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - - 2 汚水処理負荷抑制 適切な駐車スペースの確保 4.0 0.25 - - 3 度乗物処理負荷抑制 減量化対策を計画している 4.0 0.25 - - 3 服音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - - 1 騒音 - <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td>-</td><td></td></t<>						-	-	
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 適切な駐車スペースの確保 4.0 0.25 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 減量化対策を計画している 4.0 0.25 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 - - - - - 2 振動 - - - - - - 3 悪臭 -							-	
3 交通負荷抑制 適切な駐車スペースの確保 減量化対策を計画している 4.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.33 - 3.2 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 - 3.0 1.00 - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 - 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 - 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 - 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 - 3.0 0.30 - 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策している。 5.0 0.70 -				3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制 適切な駐車スペースの確保 減量化対策を計画している 4.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.33 - 3.2 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 - 3.0 1.00 - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 - 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 - 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 - 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 - 3.0 0.30 - 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策している。 5.0 0.70 -		2 汚水処理負荷抑制	_	3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制 減量化対策を計画している 4.0 0.25 **** - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.33 **** - 3.2 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 - 3.0 1.00 - - 2 振動 - <td< td=""><td></td><td>3 交通負荷抑制</td><td>適切な駐車スペースの確保</td><td>4.0</td><td>0.25</td><td>-</td><td>-</td><td></td></td<>		3 交通負荷抑制	適切な駐車スペースの確保	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮 3.2 0.33 - 3.2 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 - 3.0 1.00 - 3.0 1.00 - 3.2 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 - 3.0 0.40 - 3.0 0.40 - 3.0 0.40 - 3.0 0.30 0.30 0.30 - 3.2 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 - 3.0 0.40 - 3.0 0.40 - 3.2 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 - 3.0 0.40 - 3.0 0.40 - 3.0 0.40 - 3.0 0.30 0.30 - 3.0			減量化対策を計画している	4.0		-	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 - 3.0 1.00 - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 - 3.0 0.40 - - 2 砂塵の抑制 - 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 - 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 - 3.0 0.30 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策している。 5.0 0.70 - -	3						_	3.2
1 騒音 - 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - - - 3 悪臭 - <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td>							-	
2 振動			-					
3 悪臭			-	3.0	1.00			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - - 1 風害の抑制 - 3.0 0.70 - - 2 砂塵の抑制 - - - - - 3 日照阻害の抑制 - 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 E外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策している。 5.0 0.70 -			-		-		-	
1 風害の抑制 3.0 0.70 -			_		-	-	-	
2 砂塵の抑制 - </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td>						-	-	
3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策している。 5.0 0.70 - -			_	3.0	0.70	-	-	
3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策している。 5.0 0.70 - -		2 砂塵の抑制	_		-	•		
3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策している。 5.0 0.70 - -			_	3.0	0.30		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策している。 5.0 0.70							-	
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対	策 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策している				_	
2 2000 CM 121-00 WASING 12 17 WASA		•					_	
			•••	5.0	0.00	L.	9	

	E-建築(新築)2021年SDGs対応版 る取組み	스타	合計2	No.4	No.0	No.0	NI ₂ 4	N. C	No.0	Nic 7	N _C C	No.0		_	クノセンター	
	<u></u>	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	N0.5	N0.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
	<u>'一こ人性能</u> 装計画	4.0	T _	0	0	0	0	_	_	_	_					
	表前画 住持管理に配慮した設計	6.0	_	0	ŏ	-	-	0			0	_	0	0	_	_
	持管理用機能の確保	7.0		-	ŏ	0		0	0		00		00	 	0	_
	記調·換気設備	1.0		_	_	_	0)))			
	·排水·衛生設備	2.0	2.0	0	_	0	_	-	-	_						
	155.50 (A)	1.0	_		_	_	0	_	_							
_	[信·情報設備	2.0		_	_	0	_	_	0							
	E外環境(敷地内)															
	物資源の保全と創出	4.0		_	_	2.0	_	1.0	_	_	_	1.0	_	T -		
	ちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	_	_	1.0	_							
	は性への配慮、快適性の向上	2.0		_	_	_	_	1.0	1.0	-	-					
	地内温熱環境の向上	6.0		_	1.0	_	1.0	1.0	_	_	1.0	2.0				
	ニネルギー															
	然エネルギー利用	1.0		_	0	_	_	_	_	_	_	_	_	l –	_	_
	₹源・マテリアル													<u> </u>		
	排水等再利用システム導入の有無			_	_	_	_	_	_	_	_					
	対料使用量の削減	1.0		_	_	1.0										
	体材料におけるリサイクル材の使用	-		_	1.0	-	_	-								
	材の再利用可能性向上への取組み	2.0		0	-	0	_									
	害物質を含まない材料の使用															
	放地外環境															
	<u>へつれる。</u> 品熱環境悪化の改善	6.0		1.0	_	_	1.0	1.0	_	_	3.0	I –	_			
	: 孤绿况芯记000G E通負荷抑制	3.0		1.0	_	1.0	-	1.0	_		-					
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4.0		_	1.0	1.0	1.0	1.0	_	1.0						
	と 東の 抑制	_		_	-	1.0	1.0			1.0						
	外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											
		1.0		2.0												
主な指																
Q1 室	图内環境															
2.1.3 外	卜皮性能			窓システ	حک ک	0.5	窓の日	1射熱取	得率(η)	0.4						
				U値(W/r	OIC)											
					mZK)	窓	システム	1.3	屋根	0.4	外壁	0.3	床	0.7		
				住戸部分	-				屋根 ト皮UA値		外壁 η AC		床 η AH		-	
3.1.1 昼	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				-	、テムU値									-	
	☑光率 ☑然换気性能			住戸部分	窓シス	ステムU値									- -	
				住戸部分	予 窓シス 0.0%	ステムU値									-	
4.2.2 自 Q2 サ	1然換気性能			住戸部分	か 窓シス 0.0% 【有効開ロ	ステムU値	0.0%		↑皮UA値			_			-	
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1 広	a然換気性能 ├―ビス性能			住戸部分 昼光率 自然換気	からいた。 0.0% では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	テムU値 コ面積率 .0㎡	0.0%	9	↑皮UA値	-	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_	- - <u>-</u>	
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1 広 1.1.2 高	a 然換気性能 - ービス性能 る・収納性			住戸部分 昼光率 自然換気 執務スペ	からいた。 0.0% では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	テムU値 コ面積率 .0㎡	- 0.0% /人 VA/㎡	9	↑皮UA値	-	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_	- - -	
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1 広 1.1.2 高 1.2.1 広	∃然換気性能 ト ービス性能 ニさ・収納性 5度情報通信設備対応			住戸部分 昼光率 自然換気 執務スペ コンセン 天井高	からいた。 0.0% では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ステムU値 コ面積率 .0㎡ 0.0 2.8	- 0.0% /人 VA/㎡	病床	↑皮UA値	- /床	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_	- - <u>-</u>	
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1 広 1.1.2 高 1.2.1 広 1.2.2 リ	a然換気性能 ト ービス性能 なさ・収納性 原度情報通信設備対応 なさ感・景観			住戸部分 昼光率 自然換気 執務スペ コンセン 天井高	か 窓シス 0.0% (乳有効開口 パース ト容量	ステムU値 コ面積率 .0㎡ 0.0 2.8	- 0.0% /人 VA/㎡ m	病床	卜皮UA値 .0㎡	- /床	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_	- - <u>-</u>	
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1 広 1.1.2 高 1.2.1 広 1.2.2 リ 2.2.1 躯	a A A A A A B B B B B B B B B B B B B			住戸部分 昼光率 自然換気 執務スペ コンセン 天井高 リフレッシ	からいる。 の0.0% (1.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	マテムU値 コ面積率 .0㎡ 0.0 2.8 -ス 0	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8%	病床	卜皮UA値 .0㎡	- /床	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_	-	
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1 広 1.1.2 高 1.2.1 広 1.2.2 リ 2.2.1 射 2.2.2 外	a 大 一ビス性能 な・収納性 医度情報通信設備対応 な感・景観 フレッシュスペース 区体材料の耐用年数	『阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿阿		住戸部分 昼光率 自然換気 執務スペコンセン 天井高 リフレッシ 想定耐用	か 窓シス 0.0% 利 有 効 開 ロ ペース ト 容量 レユスペー 月 年 数 関 間 隔	ステムU値 コ面積率 .0㎡ 0.0 2.8 -ス 0	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年	病床	卜皮UA値 .0㎡	- /床	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_		
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1 広 1.1.2 広 1.2.1 広 1.2.2 リ 2.2.1 躯 2.2.2 外 2.2.3 主	a 然換気性能 トービス性能 るさ・収納性 原度情報通信設備対応 るさ感・景観 フレッシュスペース 逐体材料の耐用年数 ト壁仕上げ材の補修必要間隔	引隔		住戸部分 昼光率 自然換复 執務スペン 天井高 リフレッシ 想定耐用 想定必要	か 窓シス 0.0% 気有効開口 ペース ト容量 シュスペー 月年数 長間隔	ステムU値 コ面積率 .0㎡ 0.0 2.8 -ス 0 60 20	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年 年	病床	卜皮UA値 .0㎡	- /床	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_	<u>-</u>	
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1 店 1.1.2 店 1.2.1 広 1.2.2 リ 2.2.1 躯 2.2.2 外 2.2.3 主 2.2.6 主	日然換気性能 トービス性能 なさ・収納性 原度情報通信設備対応 なさ感・景観 フレッシュスペース 区体材料の耐用年数 ト壁仕上げ材の補修必要間隔 で要内装仕上げ材の更新必要間	 野隔		住戸部分 昼光率 自然換気 執みなセン リフレン・計 フレン・計 型定定必要 想定必要	か 窓シス 0.0% 気有効開口 ペース ト容量 シュスペー 月年数 長間隔	ステムU値 コ面積率 .0㎡ 0.0 2.8 -ス 0 60 20	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年 年	病床	卜皮UA値 .0㎡	- /床	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_	- - -	
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1 店 1.1.2.1 広 1.2.2 リ 2.2.2 射 2.2.3 主 2.2.6 官 3.1.1 階	日然換気性能 トービス性能 るさ・収納性 原度情報通信設備対応 なさ感・景観 フレッシュスペース 区体材料の耐用年数 ト壁仕上げ材の補修必要間隔 医要内装仕上げ材の更新必要間 要設備機器の更新必要間隔	引隔		住戸部が発見を表する。 は、おり、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	か 窓シス 0.0% 7 0.0% 7 0	ステムU値 コ面積率 .0㎡ 0.0 2.8 -ス 0 60 20	- 0.0% /人 VA/m ² m 8.8% 年 年	病床	卜皮UA値 .0㎡	- /床	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_	-	
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1.1 店 1.1.2.1 広 1.2.2 以 2.2.2 射 2.2.3 主 2.2.6 階 2.3.1.1 空	a 然換気性能 トービス性能 る・収納性 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは	背隔		住屋自執コ天リ想想想問門の大学を受ける。	か 窓シス 0.0% 7 0.0% 7 0	-ス 00 2.8 -ス 0 00 2.8 -ス 0 60 20 0 4 20.4%	- 0.0% /人 VA/m ² m 8.8% 年 年	病床	卜皮UA値 .0㎡	- /床	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_		
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1.1 1.1.2.1 1.2.2 2.2.2 2.2.2 9 2.2.2 2.2.3 1.1.1 空 3.1.1 空 3.1.2 で 3.1.2 で 3.1.3 で 3.1.2 で 3.1.2 で 3.1.3 で 3.1.2 で 3.1.3 で 3.1.3 で 3.1.3 で 3.1.3 で 4.13	日然換気性能 トービス性能 る・収納性 でででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でで	引隔		住屋自執コ天リ想想想階壁の大力を表している。	か 窓シス 0.0% 7 0.0% 7 0	-ス 00 2.8 -ス 0 00 2.8 -ス 0 60 20 0 4 20.4%	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年 年 年	病床	卜皮UA値 .0㎡	- /床	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_		
4.2.2 自 Q2 サ 1.1.1.1 1.1.2.1 1.2.2 1 2.2.2.1 1.2.2 2 2.2.3 2.2.2.3 2.2.2.6 2.3 3.1.1 2.3 3.3 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	会 大一 ビス性能 な・収納性 なき・収納性 なき・収納性 なでで、最初である。 なでで、最初である。 なでで、では、またでは、ないで、では、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで	引隔		住屋自執コ天リ想想想階壁の大力を表している。	窓シス 0.0%瓦有効開口ペース日本早時隔隔時間隔本	-ス 00 2.8 -ス 0 00 2.8 -ス 0 60 20 0 4 20.4%	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年 年 年 m	病床	k皮UA値 .0㎡ スペース	- /床	ηΑΟ	_	η ΑΗ	_		
1.2.2 自 Q2 サル 1.1.1 1.1.2.1 1.1.2.2 1.2.2.2.2.2.3 1.1.1 2.2.2.2.3 2.2.2.6 2.2.3 3.1.1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	A 然換気性能 トービス性能 な・収納性 なき・収納性 なき、景観 フレッシュスペース 体材料の耐用年数 ト壁仕上げ材の補修必要間隔 を要改備機器の更新必要間隔 を要設備機器の更新必要間隔 に要のゆとり に間の形状・自由さ でするでは、 でするでは、 でするでは、 でするでは、 でするでは、 でするでは、 でするでは、 でするでは、 では、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでするでは、 でするでするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでは、 でするでは、 でするでは、 でするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでは、 でするでするでするでは、 でするでするでするでは、 でするでするでするでするでするでは、 でするでするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするでするできないでするでするです。 でするでするでするでするできないできないでするできないできないできないできないできないできないでするできないできないできないでするできないできないでするできないできないです。 でするでするでするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするで	引隔		住屋自執コ天リ想想想階壁床部率換スン井フ定定定定高長荷の外の必必とは、	窓シス 0.0%瓦有効開口ペース日本早時隔隔時間隔本	ステムU値 コ面積率 0㎡ 0.0 2.8 -ス 0 60 20 0 4 20.4% 	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年 年 年 年	病床レスト	ト皮UA値 	- /床 0.0%	ηΑΟ	_	η AH ツイン	_	_	
4.2.2 自 Q2 サ広 1.1.1 1.1.2.1 1.1.2.2 1.2.2.2.2.2.2.2.2.2.3.3.1.1 2.2.2.3 2.2.3 2.2.3 2.3 3.2 2 3 3 3 3 3	在然換気性能 トービス性能 さ・収納性 ででは、	訂隔		住昼自執コ天リ想想想階壁床部率換スペンリンで定定定高長荷制の必必必とは、外構のの対象ののでは、外構を対象のでは、大きないのでは、大きないのでは、ないのでは、大きないのでは、ないのではないのでは、ないのではないでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのではないのでは、ないのではないでは、ないのではないでは、ないのではないでは、ないのではないでは、ないのではないでは、ないのではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	予 窓シス 0.0% (1.0%) (1.	ステムU値 コ面積率 0㎡ 0.0 2.8 -ス 0 60 20 0 4 20.4% 	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年 年 年 年	病床レスト	ト皮UA値 	- /床 0.0%	η AC	- .0㎡	η AH ツイン	- .0m²	_	
4.2.2 自 Q2	無然換気性能 一ビス性能 こさ・収納性 でで、は、 でで、は、 でで、では、 でで、では、 でで、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	『阿阿		住昼自執コ天リ想想想階壁床部率換スペンリンで定定定高長荷制の必必必とは、外構のの対象ののでは、外構を対象のでは、大きないのでは、大きないのでは、ないのでは、大きないのでは、ないのではないのでは、ないのではないでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのでは、ないのではないでは、ないのではないのでは、ないのではないでは、ないのではないでは、ないのではないでは、ないのではないでは、ないのではないでは、ないのではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	か 窓シス 0.0% (A 有効開口 ペース リース 量 リース 数 関目間隔 歴史間間隔 本 2.1指数 53%	ステムU値 コ面積率 0㎡ 0.0 2.8 - ス 0 60 20 4 20.4% 25%	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年 年 年 年	病床レストと対象を	ト皮∪A値 	- /床 0.0%	η AC	- .0㎡	η AH ツイン	- .0m²	_	
4.2.2 自 Q2 1.1.1.1 1.1.2.1 1.2.2 1.2.2.2.2.1 1.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.	名然換気性能 ・一ビス性能 な・収納性 のででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	『隔		住昼自 執コ天リ想想想階壁床外空戸光然 務ン井フ定定定定高長荷 構地部率 壊 スン高ッ・科の必必 さす 保事	京 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2	病床レストと対象を	ト皮∪A値 .0㎡ スペース こ指数 5%	- /床 0.0% 0.0% 地表面: 対象外	η AC	- .0㎡	η AH	- .0m²	ž 29%	
4.2.2 自 Q2 1.1.1.1 1.1.2.1 1.2.2 1.2.2.2.2.1 1.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.	無然換気性能 ・ でス性能 な・収納性 なで・収納性 なで・収納性 なで・収納量信設備対応 なでででででである。 なででである。 なででである。 なででである。 なででである。 なででである。 なでである。 なでである。 なでである。 なでである。 なでである。 なでである。 ないのでは、 ないのでは、 ないのでである。 ないのでは、 ないのでは、 ないのでである。 ないのでは、 ない	引隔		住屋自 執コ天リ想想想階壁床外空 門光然 務ン井フ定定定定高長荷 場でする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	京 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2	病床レスト	ト皮UA値 .0㎡ スペース ::指数 5%	- /床 0.0% 0% 地表面: 対象外 採光を満	対策面積率 相当	- .0㎡	η AH ツイン 採光を満		ž 29%	
4.2.2 サ 広高広リ躯外主主階空荷 室 生影工建自	無然換気性能 一ビス性能 一で、性能 一で、収納性 一で、収納性 一で、収納通信設備対応 一点でで、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	引隔		住屋自 執コ天リ想想想階壁床外空 門光然 務ン井フ定定定定高長荷 場でする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	京のののである。 1 京のののできます。 1 京のののできます。 2 京ののののできます。 2 本のののできます。 2 本ののできます。 2 本ののできます。 3 本のできます。 3 は、 3 は、 <td< td=""><td>ステムU値 コ面積率</td><td>- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2</td><td>病床レスト</td><td>ト皮UA値 .0㎡ スペース :指数 5%</td><td>- /床 0.0% 0% 地表面: 対象外 採光を満</td><td>対 和 大 を が が は も は す 数 を を を を も も も も も も も も も も も も も</td><td>- .0㎡ 16%</td><td>η AH ツイン 採光を満</td><td>- .0㎡ 編装面積料 たす住戸数 たす住戸数</td><td>29% 0.0%</td><td></td></td<>	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2	病床レスト	ト皮UA値 .0㎡ スペース :指数 5%	- /床 0.0% 0% 地表面: 対象外 採光を満	対 和 大 を が が は も は す 数 を を を を も も も も も も も も も も も も も	- .0㎡ 16%	η AH ツイン 採光を満	- .0㎡ 編装面積料 たす住戸数 たす住戸数	29% 0.0%	
4.2.2 サ 広高広リ躯外主主階空荷 室 生敷工建自 設	は 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	引隔		住昼自 執コ天リ想想想階壁床 外空 BPI/M M を W の BPI/M M を BPI/M を BPI/M M を BPI/M を BPI/M M を BPI/M を BPI/M M を BPI/M を BPI/M M を BPI/M BPI/M M を BPI/M を BPI/M M を BPI/M を BPI/M M	京のののである。 1 京のののできます。 1 京のののできます。 2 京ののののできます。 2 本のののできます。 2 本ののできます。 2 本ののできます。 3 本のできます。 3 は、 3 は、 <td< td=""><td>ステムU値 コ面積率</td><td>- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2 水平投</td><td>病床 レスト 建物線率 能等級MJ/年M</td><td>ト皮UA値 .0㎡ スペース :指数 5%</td><td>- /床 0.0% 地 表 を を を が 派 満 系 が 満 満 八 満 八 満 り 、 一 、 一 、 り 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う</td><td>対 和 大 を が が は も は す 数 を を を を も も も も も も も も も も も も も</td><td>- .0㎡ 16% 0.0% 0.0%</td><td>が カAH ツイン 採光を満 通風を満</td><td>- .0㎡ 舗装面積率 たす住戸数 たす住戸数</td><td>29% 0.0%</td><td></td></td<>	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2 水平投	病床 レスト 建物線率 能等級MJ/年M	ト皮UA値 .0㎡ スペース :指数 5%	- /床 0.0% 地 表 を を を が 派 満 系 が 満 満 八 満 八 満 り 、 一 、 一 、 り 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う	対 和 大 を が が は も は す 数 を を を を も も も も も も も も も も も も も	- .0㎡ 16% 0.0% 0.0%	が カAH ツイン 採光を満 通風を満	- .0㎡ 舗装面積率 たす住戸数 たす住戸数	29% 0.0%	
4.2.2 以 2.1.1.1.1.2.1 1.1.1.2.2 1.1.2.2 1.1.2.2 1.1.2.2 1.2.2.2.3 1.1.2 1.2.2.2.2.2.2.2.3 1.1.2 1.2.2 1.2.2 1.2.2 1.2.2 1.2.2.2.3 1.3.2	は、大学の大学の大学の大学の大学の大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学の大学をは、大学の大学をは、大学の大学を表して、大学の大学を表して、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	『阿		住昼自 執コ天リ想想想階壁床 外空 BPI/M M を W の BPI/M M を BPI/M を BPI/M M を BPI/M を BPI/M M を BPI/M を BPI/M M を BPI/M を BPI/M M を BPI/M BPI/M M を BPI/M を BPI/M M を BPI/M を BPI/M M	S	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2 水平投	病床 レスト 建物線率 能等級MJ/年M	ト皮UA値 .0㎡ スペース :指数 5%	- /床 0.0% 地 表 を を を が 派 満 系 が 満 満 八 満 八 満 り 、 一 、 一 、 り 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う 、 う	対 和 大 を が が は も は す 数 を を を を も も も も も も も も も も も も も	- .0㎡ 16% 0.0% 0.0%	が カAH ツイン 採光を満 通風を満	- .0㎡ 舗装面積率 たす住戸数 たす住戸数	29% 0.0%	
4.2.2 以 1.1.1 1.1.2.2 1.1.2.2 1.2.2.3 1.1.2 2.2.2.3 3.1.1 2 2.2.2.3 3.1.1 2 3 LR 2 1.2.1 2 3 LR 2 1.2.1 2 3 LR 2 1.2.1 3	は、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大			住屋自 執コ天リ想想想階壁床外空 BPI/BPI BPI/BPI BPI/BPI	R	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2 水平投	病床 レスト 単物積 率 MJ/年 住 MJ/年 宅	ト皮UA値 .0㎡ スペース 5%	- /床 0.0% 地表 3 米光を表光 基属 太太	対策面積率 相当 たす教室数 たのkW	- .0㎡ 16% 0.0% 人場熱等	が AH ツイン 採光を満 通風を満 .0kW	- .0㎡ 結装面積率 たす住戸数 たす住戸数 だまを	29% 0.0%	
4.2.2 1.1.1.1.2.1.1.1.2.2.2.2.2.2.2.3.3.1.2 3 R2 1.2.1 2.2.1.1.2.1 2.2.1 2.2.2.3.3.1.2 3 R2 1.2.1 2.3 R2 1.2.1 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4	は、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	レ材の使		住昼自 執コ天リ想想想想階壁床 外空 BPI 所特 アンドラット シーチ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	お 窓 0.0% 気 1 ス の 0.0% ス カース 量 プラ 目 間 隔 本 と 1 年 日 本 本 と 1 年 本 本 と 1 年 本 本 と 1 日 本 本 と 2 日 本 の 1 日 本 の 1 日 本 と 2 日 本 の 1	マース	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2 水平投	病床 レスト 単物積 率 MJ/年 住 MJ/年 宅	ト皮UA値 .0㎡ スペース 5%	- /床 0.0% 地表 3.0% 地対 2.2 採通 太 場 3.0%	対策面積率 相当 たす教室数 たのkW	- .0㎡ 16% 0.0% 0.0%	η AH ツイン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- .0㎡ 結装面積率 たす住戸数 たす住戸数 だまを	29% 0.0%	
4.2.2 1.1.1.1.2.1 1.1.1.2.2.2.2.2.2.2.3.3.1.2 2.2.2.3.3.1.2 3 L.2.1 2.2.4.5 L.2.1 2.2.4.5 L.2.1 2.2.5 L.2.1 2.2.4 2.2.5 L.2.1 2.4 2.5 L.2.1 2.5	は、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	レ材の使	用	住昼自 執コ天リ想想想階壁 床 外空 BPI 雨特使戸光然 務ン井フ定定定定高長荷 構地 I/S 水定用部率 換 スンコ高ッ・耐必必必 さす 緑率 BPI/ト 水定用 BPI/ト 別調は	京 0.0% <	- ス	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2 水平投	病 床 レスト 物 積 を は り イ 住 マ ー	ト皮UA値 .0㎡ スペース 	- /床 0.0% 地対第をを 表象をを ボード、 に	対策面積率 相当 たす教室数 たのkW	- .0㎡ 16% 0.0% 人場熱等	η AH ツイン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- .0㎡ 結装面積率 たす住戸数 たす住戸数 だまを	29% 0.0%	
4.2.2 1.1.1.2.1 1.1.2.2.2.2.2.2.3.3.1.2 3 R2 1.2.4 5 E サ広高広リ躯外主主階空荷室生敷工建自 設資雨躯持消 1.2.4 1.	は、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	レ材の使	用	住昼自 執コ天リ想想想階壁床 外空 BP自 雨特使オード光然 務ン井フ定定定定高長荷 構地 BPI/ 水定用ゾ部率 換 スン高ッ・耐必必必 さす 緑率 BPI/ 水定用ゾルでは、100mmのでは、10	京 0.0% <	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/m m 8.8% 年年年 m N/m2 水平投げ 0 0.01	存 対 支 地域 基本 大	ト皮UA値 .0㎡ スペース .2指数 .5% 	- /床 0.0% 0% m 対象 を 高満 米 ボード、 b (GWP)	対策面積率 相当 をす数室 かまたす が 1.0kW	- .0㎡ 0.0% 太陽熱等 治体指定の:	η AH ツイン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- .0㎡ 結装面積率 たす住戸数 たす住戸数 だまを	29% 0.0%	
4.2.2 1.1.1 1.1.2.1 2.2.2 2.2.2.3 1.1.2 3 LR 2 2.2.2 2.2.3 3.1.1 2 3 LR 2.1 2.4 5.2.1 2.4 5.2.1 3.2.2 8 3.2.2 8 3.3.2.2 8 6 6 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 8 7 8 8 8 7 8 8 8 7 8 8 8 7 8 8 8 7 8 8 8 8 7 8	は、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	レ材の使	用	住昼自 執コ天リ想想想想階壁床 外空 BP自 BP 雨特使オオア光然 務ン井フ定定定定高長荷 構地 BPI 水定用ゾン部率 換 スン高ッ計の必必 さ重 緑率 BPI 利調は率層層	R	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/㎡ m 8.8% 年年年 m N/m2 水平投	病	大皮UA値	- /床 0.0% 0% m 対象を基準を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	対策面積率 相当 たす教室数 たのkW	- .0㎡ 0.0% 太陽熱等 治体指定の:	η AH ツイン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- .0㎡ 結装面積率 たす住戸数 たす住戸数 だまを	29% 0.0%	
4.2.2 1.1.1.2.2.2.2.2.2.3.3.3.2.2 3 L.1.2.4 5 2.2.2.3.3.3.2 3 L.1.2.4 5 2.2.2.3.3.3.2.3 2.3 2.3 2.3 2.3 3.3.2.3 3.3.3.3.	は、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	レ材の使	用	住昼自 執コ天リ想想想階壁床 外空 BP自 雨特使オード光然 務ン井フ定定定定高長荷 構地 BPI/ 水定用ゾ部率 換 スン高ッ・耐必必必 さす 緑率 BPI/ 水定用ゾルでは、100mmのでは、10	R	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/m m 8.8% 年年年 m N/m2 水平投げ 0 0.01	病	ト皮UA値 .0㎡ スペース .2指数 .5% 	- /床 0.0% 0% m 対象を基準を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	対策面積率 相当 をす数室 かまたす が 1.0kW	- .0㎡ 0.0% 太陽熱等 治体指定の:	η AH ツイン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- .0㎡ 結装面積率 たす住戸数 たす住戸数 だまを	29% 0.0%	
4.2.2 1.1.1.2.1.2.1.2.2.2.2.2.3.3.3.2.3	は、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	レ材の使	用	住昼自 執コ天リ想想想想階壁床 外空 BP自 BP 雨特使オオオア戸光然 務ン井フ定定定定高長荷 構地 I/S然 I/N 水定用ゾゾゾッ部率換 ベン高ッ解必必必 さ重 緑率 BPI 利調は層層層 開発 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2	3	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/m ^a m 8.8% 年年年 中 M/m2 水平投 が 0.01	病床 レスト 対線	大皮 UA 値	- /床 0.0% 0% m 対象を基準を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	対策面積率 相当 をす数室 かまたす が 1.0kW	- .0㎡ 0.0% 太陽熱等 治体指定の:	η AH ツイン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- .0㎡ 結装面積率 たす住戸数 たす住戸数 だまを	29% 0.0%	
4.2.2 1.1.1.2.1.2.1.2.2.2.2.2.3.3.1.2 3 LR.2.1 2.2.2.2.3.3.3.2.3 LR.2.1 2 3 LR.2.1 2.3.3.2.2.3 LR.3.2.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3.3	は、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	レ材の使	用	住昼自 執コ天リ想想想階壁 床 外空 BP自 BP 雨特使オオオ 見戸光然 務ン井フ定定定定高長荷 構地 I/k然 アルカリン オープリン は 緑率 BPは 水定用ゾンゾン 付 は サーバ サーバ は 東 アル 月 資率層層 雨 和 ま アル 月 資本層層層 面	A スターク ののの のののの のののののの	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/m m 8.8% 年年 年 年 の 0.01 Martin Martin	病	ト皮UA値 .0㎡ スペース 二 一 ク商品 温暖化係係 温暖化係係 0.33	- /床 0.0% 0% 0% m 対象をを満入 ボード・L 数 (GWP) (GWP) 1. (GWP) 1	対策面積 相当 たす教室数 たのkW	- .0㎡ 16% 0.0% 太陽熱等 治体指定の:	· η AH ツイン 採風を満満 .0kW 持定品目等	0㎡ 編装 面積 面 では では です 住 戸 数 である。 では である。 では である。 では である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	29% 0.0% 0.0kW	
4.2.2 1.1.1.2.1.2.1.2.2.2.2.2.3.3.3.2.3	は、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	レ材の使	用	住昼自 執コ天リ想想想想階壁床 外空 BP自 BP 雨特使オオオア戸光然 務ン井フ定定定定高長荷 構地 I/S然 I/N 水定用ゾゾゾッ部率換 ベン高ッ解必必必 さ重 緑率 BPI 利調は層層層 開発 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2	A	ステムU値 コ面積率	- 0.0% /人 VA/m m 8.8% 年年年 m N/m2 水平投; 断熱等f 0 0.01	病 上 財 大 大<	ト皮 UA 値	- /床 0.0% 0% m 対象を基準を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	対策面積率 相当 をす数室 かまたす が 1.0kW	- .0㎡ 0.0% 0.0% 太陽熱等 -	η AH ツイン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- .0㎡ 結装面積型 たす住戸数数 たす住産蓄電池	29% 0.0% 0.0%	